



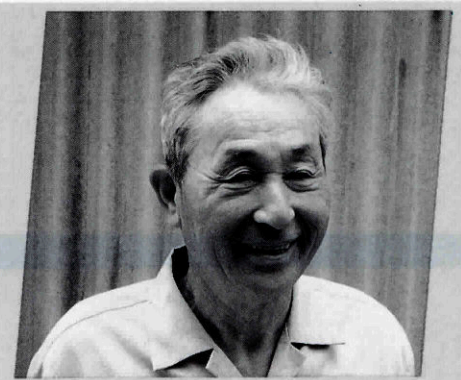
上田 みゆき さん

6年 (通15区)

5月2日、通小学校では14名の新1年生を祝う「1年生を迎える会」が行われました。

1年生の似顔絵リレーや各学級の出し物があり、とても楽しいひとときとなりました。

通小学校では、これらの集会活動をはじめ、そうじや仲よしタイムなどたて割り班活動に力を入れて取り組んでいます。全校児童146名が、だれとでも仲よくでき、おたがいに助け合っていけるような学校にしていこうというのも、このたて割り班活



学校を卒業後、すぐに農業に携わった。当時から2町9反の田を作っており、農業以外の道に進むことは考えられなかった。同じやれば徹底的にやってやろうと思ったという。

戦争から帰って、本格的に取り組むようになり、「米の他に野菜も1反あまり作っており、まず農業の機械化を考えました。人手に頼っているのは、2町9反の田をいつまで維持できるかと思いましたし、実際やっていけませんでした」と。知人の農機具屋さんと研究し、いち早く田植機を取り入れた。また、勉強のため山口の農業試験場にもたびたび通い、新聞に農業の記事があれば、どこへでもすぐに見に行き、これはと思えばすぐ実践してみた。「新しいことをやってみ



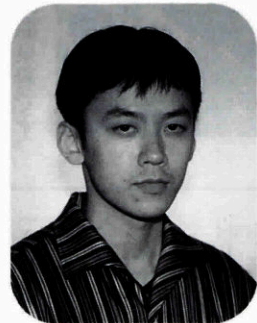
動のねらいの一つです。

先日、行われた「たて割り班出発式」では、各班ごとに分かれて長なわとびをして楽しみました。中には1年生をかかえてあげたり、せおってとんでいた班もあり、とても仲よく活動していました。

今後も様々な活動が予定されていますが、どの班も力を合わせてがんばっていきそうです。

ふるさとながと ⑳

こんにちは



村田 昌宏 さん
(静岡市笠上)

略歴

1971年上川西2区で生まれる。岡山大学工学部情報工学科卒業後、高木産業(株)入社。総合企画研究室所属、画像圧縮技術・ISDN回線を用いての通信関連のWindowsアプリケーションの開発等に従事。

故郷というもの

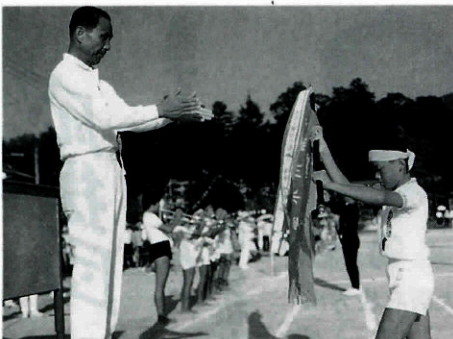
高校時代まで長門で育った私の実家は、田園地帯にあり、海、山、川、自然とふれあえる環境の中で生活でした。今、長門に思いを馳せると、自然の風景や見たときの感情ふれたときの感触・臭いが脳裏に浮かびます。

咲き乱れる菜の花、春を告げる黄砂、うぐいすの声で目覚める朝、雨上がりの薄日の中に出現する虹、夏に響くカエルやセミの声、鬱蒼とした森林を踏みしめる大地の感覚、夏の海辺での海風と臭い、湿地へ素足で入ったときの微妙な感覚、草むらに寝ころんで眺めた夕焼け・雲の動き、田に広がる藁塚の光景、岸壁に打ちつける荒波の躍動感。

これらの原風景は、家から身近の距離で体験した思い出です。長門の人々は自然に恵まれています。私にとって長門の自然は、

人間形成の一翼を担ってくれました。次代を生きる長門の子ども達が自然と戯れることによつて、長門独自の何か、あるいはそれをも包含するもつと大きなものを心に感じとってくれればと思います。

最後に、幾年を経ても、長門が長門自身であり続けることを願います。ふるさととは現在進行形ですから。



小学校の運動会にて